

JACVSD ID	項目	JACVSD 入力	手術台帳
100018068	手術日	1/18	1/17
100028904	手術日	1/19	1/29
100018137	術者 施設患者 ID	患者名 #####	FUKUI *****
100025002	手術日	3/27	3/28
100031277	施設患者 ID	*****0*	*****
100044483	施設患者 ID	*****4	*****
100033776	術者	名前・苗字	苗字・名前
100034725	術者	患者名	HATTORI
100042663	手術日	9/9	9/19
100040059	手術日	10/20	10/22

表 2-2. JACVSD における登録重複例

JACVSD ID	手術日
100018302	1/17
100049131	
100031839	2/19
100031284	
100024949	4/4
100022769	
100031839	2/19
100031284	
100033776	7/5
100033843	
100049220	10/11
100050034	
100024997	5/7
100049191	

3. 死亡症例の確認

2007 年（120 例）の症例において入力のあったものでは、死亡症例は例であった。また、2006 年以前には例の死亡症例の登録があった。

今回 2007 年の例を含む例に対してカルテ確認を行った。
別紙 1 に一覧を示す。

4. DC 問題例および無作為抽出生存例の確認

Data Cleaning にて問題を指摘された例のうち、生存例 1 例に対してカルテの確認を行った。また、加えて無作為に抽出した生存例 6 例を確認した。

別紙 2, 別紙 3 に一覧を示す。

5. 全体まとめ

A. 全データについて

- 当施設ではデータの輸入は限定された者ではなく、複数医師（各主治医）が入力している。このため各項目の定義を十分に理解せずに入力していると思われる部分を数多く認めた。入力者全員に十分理解していただけるように徹底することが望まれる。
- 身長、体重、術前合併症、投薬内容、術者名などのケアレス・ミスを多く認めた。また、術後合併症のチェックが適切でない症例が若干認められた。入力内容のダブルチェック体制が望まれる。
- 同一症例を異なる ID 番号で入力したものを認めた。病院 ID 番号で既登録症例であるかどうか入力前に確認する体制が望まれる。

B. 死亡症例

- 他科転科後の同一入院中の死亡は院内死亡となる。そのほか 13 日後死亡例が手術死亡“no”となっていた症例があった。手術死亡や院内死亡は JACVSD の根幹となるデータなので全登録症例を再度確認する必要あり。
- 死因が適切でない症例があった。死因は重要な項目なので死亡全症例の死因が適切か、再度確認する必要あり。

C. Data Cleaning 問題例・無作為抽出生存例、確認カルテ全体

- 上記記載のもの他は大きな問題はなかった。細かい指摘部分は別紙 2、3 の個々の項目を参照。

D. JACVSD の項目・システムに関わる問題点

- 拡大胸腺摘出術術後、胸骨正中切開の既往あり。今回再開胸となるが、既往がデータベースに反映されない。
- 術後合併症に LOS の項目がない。Perioperative MI でない心不全を含める項目が必要ではないか。

6. 要確認・修正項目

今回確認を行った症例以外の過去のデータに関しても確認・修正を要する項目、また、今後入力を行う上で特に注意を要する項目の一覧を表 3 に示す。術後成績に影響するもの、明らかな術前・術後リスクとして評価が必要と考えられる重大な要修正項目は認めなかった。表には Site Visit 当日に施設 Data Manager に対して直接コメントしたのも含む。なお、Ver.4 において改良されたものも含めた。

データの修正は、リスクモデル作成の点からは少なくとも 2005 年以降のものに関しては行われる必要がある。また、現在リスクモデル計算に必要なとされる項目群について別紙 4 に記載する。正確なリスクモデルを作成するためには 2005 年以降のこれらの項目に関して正確に入力されている必要がある。

指摘点等の修正が完了した時点で、事務局への修正完了の旨の連絡を要する。

表 3. 要確認・修正項目

パート	項目	状態	備考
D	ECA type	急性解離症例で腹部大動脈に解離が進展する場合 Thoracic のみにチェック	Peripheral もチェックする。
D	PreOp Creatinine	間違いが複数存在	術直前のデータが望ましい。
H	Aortic Insufficiency	"mild"を入力者によって"I"や"II"にチェックしている。	施設により統一すべき。Mild は"I"に、Mild to moderate を"II"にするのが望ましい。
J	Surgeon Name	患者名が入力あるいは苗字と名前が逆	
J	Date of Operation	間違いが多数	全登録データをソートし台帳と照合することが望ましい。
P	心停止手段	DHCA による停止手段が None となっている。	"Cross-Clamp"をチェックすべき。
R	合併症全般	適切でないと考えられる症例あり(別紙1、3参照)。	

S	Operative Death	適切でないと考えられる症例あり(別紙1参照)。	再チェック必要。
---	-----------------	-------------------------	----------

7. 考察

今回の Site Visit において、施設における入力において軽微なエラーを認めるものの、重大な問題は指摘されなかった。入力体制やチェック体制に改善を要すると思われる。

入力に際して、各主治医が個々にチェックする体制でおこなっているが、主治医が各項目の定義を十分に理解していない部分があると考えられた。勉強会などで各項目の定義を再確認することが望ましい。また、明らかにケアレス・ミスと思われるものもあり、ダブルチェック体制が必要である。

特に、術後リスク評価に関わるデータや入院死亡、死因などの手術成績に関わるデータは、重要であるため過去症例のデータ抽出による再確認をお願いしたい。

以上

日本心臓血管外科手術データベース機構 (JACVSD)

〒113-0033 東京都文京区本郷2丁目26番9号 鈴木ビル6階

日本心臓血管外科学会事務局内 JACVSD 事務局

E-Mail : jacvsd-adm@umin.ac.jp URL : <http://www.jacvsd.umin.jp/top.html>

高本眞一, 本村 昇, 岡田昌史, 月原弘之, 宮田裕章, 川原ユカリ

Working Group - Site Visit 検討委員

月原弘之, 小田克彦, 島本 亮, 山本裕之, 大谷則史, 中島隆之, 美甘章仁

大阪市立大学 心臓血管外科 Site Visit 実施責任者・レポート作成

中島 隆之 t_nakajima@imu.ncvc.go.jp

2008年 第6回 Site Visit 報告書

訪問施設： 心臓血管外科
(2007年 **完了** A・B・C)

日時： 平成20年6月9日 午前9時～午後5時
訪問者： 小田 克彦 (東北大学・WG-SiteVisit)
美甘 章仁 (山口大学・WG-SiteVisit)
川内 義人 (光風園病院・WG-データ利用)
月原 弘之 (JACVSD・東京大学・WG-SiteVisit)
川原 ユカリ (JACVSD)

訪問部署： 病歴閲覧室
所属部責任者： 先生
データマネージャー： 先生

対象年カルテ： (電子カルテ **紙カルテ** 電子/紙併用・移行期)

1. Data Cleaning

Site Visit に先立ち Data Cleaning を行った (2008/5/29)。

心臓血管外科においては 2008/5/29 までに 2007 年分までで 1028 件の入力があり、うち死亡例は 48 例であった。

Data Cleaning は 2007 年全登録例 237 例および 2006 年以前に入力のあった全死亡例の計 276 例を対象とした。

施設における 2007 年までの登録症例数のまとめおよび今回の Data Cleaning 対象の内訳を表 1-1、表 1-2 に示す。Data Cleaning によって指摘されたエラーおよび確認を要する項目の一覧および当該 ID を表 1-3、表 1-4 に、未完了データの一覧を表 1-5 に示す。また、全死亡症例に対して入力されたデータによる詳細な Data Cleaning を行った。その結果を表 1-6 に示す。

表 1-1. 施設症例数まとめ

全登録数 (2008/5/29 時点)	2001	34	1027 例
	2002	80	
	2003	16	
	2004	80	
	2005	267	
	2006	261	
	2007	237	
	未入力・日付エラー *1	52	
2007 年カテゴリー別登録数	Ischemic	44	18.6 %
	Valve	86	36.3 %
	Aorta	87	36.7 %
	Congenital+Others	20	8.4 %

*1 2000 年以前の症例および日付未入力(完了率 5-35%)

表 1-2. Data Cleaning 対象

データクリーニング対象データ (2008/5/29 時点データ中の 2007 年症例および全死亡症例)	2007 年生存例	228	228 例
	2007 年死亡例		例
	2006 年以前死亡例		
	計		276 例

表 1-3. エラー項目リスト

JACVSD ID	手術日	項目 1	状態
100009182	2006/4/9	退院日/死亡日	不一致
51045	2007/3/16	術者名	KAWANIHSI
99995561	2007/4/20	ECA Type	未入力
100008030	2007/7/3	ARYT-Type	未入力
100016174	2007/9/4	術前 Crn	51.0

表 1-4. 要確認項目

パート	項目	状態	エラー数
H	PS/PR	未入力	多数
J	術者名	表記の統一性に問題	多数

表 1-5. 未完了データ

JACVSD-ID	手術日
99900152	2001-11-14
99900416	2002-01-02
726	2002-01-13
2323	2002-03-05
99901373	2002-04-30
2017	2002-08-09
99909848	2002-11-23
720	2003-10-13
721	2004-01-13
6969	2004-11-19
323	2004-12-17
2587	2004-12-31
6968	2005-02-05
10814	2005-03-05
10738	2005-03-07
11905	2005-05-05
11205	2005-05-20
11183	2005-09-30
7654	2005-11-21
100018907	2007-09-25

表 1-6. 死亡例に対する Data Cleaning 結果

パート	項目	状態	JACVSD ID
S	30days State	30 日後に生存しているが Dead と入力	10738 6969 100008242 6968 99901373
A	Patient ID	ID-2 として登録されるべき?	100031570 38926 2018
A	Patient ID	重複登録が疑われる症例	10738(10816) 99900344(2323) 99900420(726) 99900417(2332)
A	Patient ID	ID-1 が存在せず ID-1 生存 として登録	721(720)
J/S	Date	手術日・死亡日確認必要	4424 27302 100009182 11183
K/L/N/O	Operation	全ての手術:N 内容不明	99900416
A	Informed Consent	N 未取得	99909848
O	Range of Replacement	N/A	721
F	CCS	AP:N だが CCS:IV 等	99999757 7654 720 99900152 99991975
F	NYHA	CHF:N だが III/IV 等 要確認	99999757 33834 2587 99900344 99900420 99900416
O	Aortic Stent Graft	未入力	10738 2323 726 99900416 99900420
E	History Op	[J]再手術:Y だが[E]では N	99900417
P	Cross-Clamp Method	Arrest での手術 Method:None	100031570 100007103 10814
R	Complication	なし	100031570
R	Prolonged Ventilation	呼吸管理時間より Y/N 不適 か	10816 99900417 2332 99991975 38212 100007103 11905 5543 11181 2018 2017

2. 手術台帳と JACVSD 入力データの照合

台帳記載項目について、JACVSD のデータベースに入力されたデータとの照合を行った。

その結果、JACVSD に登録はあるものの台帳に記載が無いものは以下の 7 例であった。表 2-1 に示す。JACVSD 登録内容と台帳記載事項が異なるものを数例認め、表 2-2 に示す。また、台帳に記載があり、JACVSD への登録がされていない症例を 10 例認めた。手術日および術式を示す (表 2-3)。重複登録と考えられた例を 1 例認めた。JACVSD-ID および手術日を表 2-4 に示す。

JACVSD ID のみ記載し、患者 ID は未記載とした。

表 2-1. JACVSD への入力あり、手術台帳へ未記載例

JACVSD ID	患者 ID(未記入)	手術日
47165		2/7
999999757		5/15
100043056		6/25
100016171		9/25
100018909		10/5
100044382		10/29
100035560		12/17

表 2-2. JACVSD と手術台帳入力不一致例

JACVSD ID	項目	JACVSD 入力	手術台帳
51490	手術日	3/27	3/23
99994383	手術日	4/10	4/11
99991975	手術日	4/11	4/10
99994311	術者	ASANO	NAKAGIRI
100007496	術者	OKITA	OKADA
100010202	術者	MATUMORI	OKITA
100014999	性別	M	F
100043869	術者	OKADA	OKITA
100044193	手術日	9/4	9/5
100018749	手術日	MATUMORI	OKADA
100044357	手術日	10/15	10/16
100044412	術者	MATUMORI	OKADA

100031570	術者	OKITA	OKADA
-----------	----	-------	-------

表 2-3. JACVSD への入力もれ

手術日	術式	備考
1/26	RV inflow strtenosis, TR severe, CHF, on PCPS, s/p HOCM MVR, myectomy, ..	4650
2/16	MR severe, AML, papillary m. rupture, cardiac arrest, shock, PCPS	4705 ?
5/8	UAP, LMT, 3VD, on IABP OPCABx4, LIMA-LAD, Ao-D1-PL(SVG), Ao-PDA(SVG)	4885
6/1	Aorto-esophageal fistula, TAA, s/p stent graft Extra-anatomical bypass, ..	4932
6/6	Aorto-esophageal fistula, TAA, s/p stent graft, s/p Extra anatomical bypass, ..	4953
6/14	AS, Af AVR (CEP 23 mm), Maze (RF Cardioblate), LAA closure, ..	4971
6/27	Aortic rupture Extra-anatomical bypass(EAB), ..	4998
7/5	s/p EAB, s/p arch interruption, mycotic Extirpation of the stent-graft	5012
10/4	IE, MR, s/p AVR, CEP21, ex CHF,s/p tracheostomy MVR,On-X,23 mm	5192
12/1	TAAA, Crawford III, DAA B TAAA grafting, reconstruction of the CA, SMA, lt RA, ICA Th 12	5314

表 2-4. JACVSD への重複登録例

JACVSD ID	手術日	備考
100044366	10/26	重複登録
100024218		

3. 亡症例の確認

2007年(237例)の症例において入力があったものでは、死亡症例は例であった。また、2007年以前には例の死亡症例の登録があった。

今回2007年の例および2006年以前の例の計例に対してカルテの確認を行った。別紙1に一覧を示す。

4. DC問題例および無作為抽出生存例の確認

Data Cleaningにて問題を指摘された例のうち、生存例1例に対してカルテの確認を行った。また、加えて無作為に抽出した生存例6例のカルテを確認した。

別紙2, 別紙3に一覧を示す。

5. 全体まとめ

A. 全データについて

- 全症例に対するData Cleaningにおいて、未入力項目を認めた。
- 当日、同意書について訪問施設DM岡田先生に確認し、所在が明らかであった。
- Stent Graft症例がこれまで入力されていなかった旨のコメントをいただいた。
- 施設におけるJACVSD入力方法としては、術前カンファ時点までの情報は岡田先生、手術から退院までの情報を田中先生が入力され、2名の先生方により登録完了されている。
- 2000年以前の症例および日付が未入力であり、完了率が5~35%の登録例を52例認めた。症例の除外を行う場合は、事務局へ連絡をいただく必要がある。
- Data Cleaningにおいて、術者名の表記の統一性に問題がみられる例を複数認めた。
- 2007年症例に1例未完了例を認めた。その他の未完了例は2005年以前の登録症例であった。

B. カルテチェック結果；死亡症例

- 施設からお借りした死亡例リストとJACVSDへの登録と違いあり。登録もれと考えられた。(2006年分まで確認)
 - MVR/LV rupture repair (2007/2/16)
 - AVR等 (2006/5/5)
 - Bentall (2006/4/9)

- 施設からお借りした死亡例リストには記載されていないが、JACVSDへ登録されている死亡例を1例認めた。
 - 2006/4/9 手術例
- 手術死亡：Noと登録されているが、Yesであると思われる例を複数認めた。
- 同一入院中の複数回手術例で、ID-2、ID-3などとして登録されていない症例が複数あり。

C. カルテチェック結果；DC問題例・無作為抽出生存例、確認カルテ全体

- DC時に指摘されたエラーや日付の誤りなど認めるものの、大きな問題を全体で認めなかった。
- カルテチェック全体として、日付の入力誤りを複数認めたが、サマリーの時点で日付の記載に誤りがあるものがあり、そのまま入力されているようである。

D. JACVSDの項目・システムに関わる問題点

- 大動脈手術症例において、瘤空置とされた術式の登録方法が明確でない。
- CABG術後で、再手術前カテーテル検査の冠動脈所見の記入方式が明確でない（LMT 100%であるが血行再建されている場合や、バイパスの狭窄・閉塞、等）
- Chronic PTEの入力方法について。

6. 要確認・修正項目

今回確認を行った症例以外の過去のデータに関しても確認・修正を要する項目、また、今後入力を行う上で特に注意を要する項目の一覧を表3に示す。

特に死亡症例に関わり術後成績に影響するもの、明らかな術前・術後リスクとして評価が必要と考えられるものに関して、過去のデータに遡り修正を要する。Site Visit当日に、施設 Data Manager に対して直接コメントしたのも含む。なお、Ver.4において改良されているものも含まれている。

データの修正は、リスクモデル作成の点からは少なくとも2005年以降のものに関しては行われる必要がある。また、現在リスクモデル計算に必要とされる項目群について別紙4に記載する。正確なリスクモデルを作成するためには2005年以降のこれらの項目に関して正確に入力されている必要がある。

指摘点等の修正が完了した時点で、事務局への修正完了の旨の連絡を要する。

表3. 要確認・修正項目

パート	項目	状態	備考
S	30days State	30 日後に生存しているが Dead と入力	mortality に直接関係するものであり、確認・修正を要する
A	Patient ID	重複登録が疑われる症例あり	一方の消去必要な場合は連絡を
J	Date	死亡日の台帳との違いあり	確認し必要であれば修正
J	Operator	入力と台帳との違いあり	必要であれば確認・訂正を
A	Informed Consent	同意書未取得例あり	
A	Patient ID	同一入院中の 2 回目手術が ID-2 として登録されていない	同一入院複数手術例には ID-2 等とする (リスクモデル計算上、同一入院中の同一患者検索には生年月日・入院日データ等を使用しており、ID-2 としての登録は必ずしも必要なものではない)

7. 考察

今回の Site Visit において、施設での入力において軽微なエラーを認めるものの、大きな問題は指摘されなかった。頻度の高い入力に関わるエラーに関しては問題点の解決を要する。また、高頻度のエラーは過去の Site Visit 時に指摘されたものとほぼ同様であり、Ver. 4 において対応済のものも含まれる。

Data Cleaning の段階で指摘されたエラーデータのうちカルテにて確認を行い得なかったものについては施設での再確認をお願いする。

2007 年の 237 例および 2006 年以前の死亡例 39 例の計 276 例を対象に事前に Data Cleaning を行った。また、Site Visit によって、237 例全例の入力確認及び死亡例、Data Cleaning にて問題を指摘された例、無作為に抽出した生存例のカルテの確認を行った。エラーを認めるものの、大きな問題は指摘されなかった。しかし表 3 に挙げたように術後リスク評価に関わるエラーも認め、入力データの訂正および今後の入力時に誤りのないよう考慮が必要と考えられる。

カルテチェック終了後、訪問メンバーによるディスカッションを行った後に施設 DM である岡田先生、田中先生とともに、高頻度、あるいは施設特有のエラーや、疑問点などについて検討を行った。これにより施設とメンバーとの意見交換を行うことができ、両者にとって非常に有用であったと考えられた。

Site Visit によって訪問施設における入力データの正確性を確認しえた。今回およびこれまでの SV の結果をもとに JACVSD 入力システムの機能向上に努めるとともに、さらなるデータベースの信頼性の向上を図る。

以 上

日本心臓血管外科手術データベース機構 (JACVSD)

〒113-0033 東京都文京区本郷 2 丁目 26 番 9 号 鈴木ビル 6 階

日本心臓血管外科学会事務局内 JACVSD 事務局

E-Mail : jacvad-adm@umin.ac.jp URL : <http://www.jacvad.umin.jp/top.html>

高本眞一, 本村 昇, 岡田昌史, 月原弘之, 宮田裕章, 川原ユカリ

Working Group・Site Visit 検討委員

月原弘之, 小田克彦, 島本 亮, 山本裕之, 大谷則史, 中島隆之, 美甘章仁

神戸大学医学部附属病院 Site Visit 実施責任者・レポート作成

小田 克彦 (東北大学) k-oda@mail.tains.tohoku.ac.jp

月原 弘之 (東京大学) tsukihara-circ@umin.ac.jp

2008年 第7回 Site Visit 報告書

- 訪問施設： 心臓血管外科
(2007年 **完了** A・B・C)
- 日時： 平成20年7月22日 午前9時～午後5時
- 訪問者： 月原 弘之 (JACVSD・東京大学・WG・SiteVisit)
山本 裕之 (鹿児島大学・WG・SiteVisit)
前川 厚生 (名古屋大学・Data Manager・WG・SiteVisit)
宮田 裕章 (JACVSD・東京大学)
- 訪問部署：
所属部責任者： 先生
データマネージャー： 先生
- 対象年カルテ： (**電子カルテ**)・紙カルテ・電子／紙併用・移行期)

1. Data Cleaning

Site Visitに先立ち Data Cleaningを行った (2008/7/9)。

広島市民病院心臓血管外科においては2008/7/9までに2002年より2007年までで997件の入力があり、うち死亡例は例であった。

Data Cleaningは2007年全登録例179例および2006年以前に入力のあった全死亡例の計202例を対象とした。

施設における2007年までの登録症例数のまとめおよび今回のData Cleaning対象の内訳を表1-1、表1-2に示す。Data Cleaningによって指摘されたエラーおよび確認を要する項目の一覧および当該IDを表1-3、表1-4に、未完了データの一覧を表1-5に示す。また、全死亡症例に対して入力されたデータに対する詳細な入力データの確認を行った。その結果を表1-6に示す。

表1-1. 施設症例数まとめ

全登録数 (2008/7/9時点)	2002	168	997 例
	2003	141	
	2004	143	
	2005	182	
	2006	180	
	2007	179	
	未入力・日付エラー *1	4	
2007年カテゴリ別登録数	Ischemic	50	27.9 %
	Valve	56	31.3 %
	Aorta	57	31.8 %
	Congenital+Others	16	8.9 %

*1 2004年登録未完了例(完了率35-40%)

表1-2. Data Cleaning 対象

データクリーニング対象データ (2008/7/9時点データ中の 2007年症例および全死亡症例)	2007年生存例	169	169 例
	2007年死亡例		例
	2006年以前死亡例		
	計		202 例

表 1-3. エラー項目リスト

JACVSD ID	手術日	項目 1	状態
100046132	2007/8/24	貴病院での ID	不一致
100046159	2007/9/20	貴病院での ID	KAWANIHSI

表 1-4. 要確認項目

パート	項目	状態	エラー数
D	肥満	未入力	多数
H	PS/PR	未入力	多数

表 1-5. 未完了データ*2

JACVSD-ID	手術日
99902505	2002-01-10
99902664	2002-06-30
99904216	2003-01-05
99902351	2003-02-05
25696	2003-03-19
99908526	2003-09-25
12772	2005-05-09
8185	2005-07-27
20729	2005-09-27
15420	2005-11-29
15413	2005-12-12
20274	2005-12-14
24274	2006-01-30

*2 全て 2006 年以前の死亡例

表 1-6. 死亡例入力データ確認

パート	項目	状態	JACVSD ID
D-H	術前項目	未入力多数	99902664
F	AP	AP: No だが CCS: IV と入力	100046035 100046189
F	AP	Unstable Angina だが AP: No と入力	100046058
H	LV function	EF 60%にて good EF 60%にて mediam の例もあり	29270

O	Other Thoracic	Yes 手術内容の確認	20726 29270 100046129 100046133
O	Disseciton	disseciton に関する詳細未入力	99902664 99902351
P	Aortic Occlusion Method	Cross-Clamp だが心停止 0.0? Cardioplegia: No と入力	100045745
R	Prolonged Ventilation	No だが Yes が適当と考えられる	100046058
A	Category	Ischemic → Others (LV Rupture?)	39060
A	Category	Ischemic → Others (VAD?)	100046189
A	Category	Others しかし[N] Others: No	100046133
M	Minimally	入力 No だが Yes が適当と考えら れる	20729 20665 24273 100046058 100046035 100045745(?) 100046165
P	IABP When	未入力	99908526
Q	Post Op Crn	未入力あるいは 0.0 未測定か?	99902664 15420
Q	Blood When	未入力	99902505 99902664 99904216 99902351 99908526 12772

2. 手術台帳と JACVSD 入力データの照合

台帳記載項目について、JACVSD のデータベースに入力されたデータとの照合を行った。

その結果、JACVSD に登録はあるものの台帳に記載が無いもの（照合不可能）を 1 例認めた。表 2-1 に示す。台帳に記載があり、JACVSD への登録がされていない症例を 1 例認めた（表 2-2）。表 2-1 症例と合わせての確認を要する。また、JACVSD 登録内容と台帳記載事項が異なるものを数例認め、表 2-3 に示す。

JACVSD ID のみ記載し、患者 ID は未記載とした。

表 2-1. JACVSD への入力あり、手術台帳へ未記載例

No	JACVSD ID	患者 ID	手術日
6	100046431	**-***2-2	12/17

Comments:

生年月日 1928/01/24

生年月日が同じ患者が異なる患者 ID, 異なる手術日で登録されていたため照合不可能

表 2-2. JACVSD への入力もれ

手術日	病名	術式	備考
11/17	IHD	CABG	生年月日 1928/01/24

Comments:

患者 ID ****52

生年月日が同じ患者が異なる患者 ID, 異なる手術日で登録されていたため照合不可能

表 2-3. JACVSD と手術台帳入力不一致例

JACVSD ID	項目	JACVSD 入力	手術台帳	備考
100045331	生年月日	1929/01/01	1939/01/01	患者の生年月日の不一致
100046027	生年月日	1943/06/11	1943/10/18	患者の生年月日の不一致
100045731	生年月日	1942/11/10	1942/11/01	患者の生年月日の不一致
100046151	生年月日	1927/02/05	1927/02/25	患者の生年月日の不一致
100046429	生年月日	1935/06/07	1935/06/17	患者の生年月日の不一致
100045327	生年月日	1967/11/16	1967/4/12	患者の生年月日の不一致
100046189	手術カテゴリ	ischemic	IHD, 補助人工心臓	術式欄は補助人工心臓の記載のみであったが、カテゴリが ischemic になっていた。

100046013	手術日	2007/07/02	2007/07/03	患者 ID が一致した手術が異なる手術日で登録
100046113	手術日	2007/08/29	2007/08/28	患者 ID が一致した手術が異なる手術日で登録
100046182	手術日	2007/12/02	2007/12/12	患者 ID が一致した手術が異なる手術日で登録
100044598	手術日	2007/03/16	2007/03/08	患者 ID が一致した手術が異なる手術日で登録
100044872	手術日	2007/04/17	2007/04/11	患者 ID が一致した手術が異なる手術日で登録

3. 死亡症例の確認

2007 年（179 例）の症例において入力があったものでは、死亡症例は例であった。また、2006 年以前には例の死亡症例の登録があった。
 今回 2007 年の例に対してカルテの確認を行った。
 別紙 1 に一覧を示す。

4. DC 問題例および無作為抽出生存例の確認

無作為に抽出した生存例 9 例に対してカルテの確認を行った。
 別紙 2 に一覧を示す。